

科目名 Course Name	観光ビジネス実務演習 Seminar on Tourism Business			ナンバリング No.	E2-002		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	伊藤 優子						
連絡方法	C-Learning または研究室(本館 2F)で対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP5,DP6						
授業の概要と到達目標	<p>この講義では、海外旅行に関する基礎知識を学習していく。時差・航空会社・OAG 時刻表（国際航空時刻表）・鉄道・バス・ホテルや食事などの基礎知識に始まり、出入国手続きを含む海外旅行の実際の販売現場に関する知識や、海外旅行業界の概略等について説明する。</p> <p>①時差計算や国際航空時刻表の理解を含む、海外旅行の基礎知識を身に付けることができるようにする。</p> <p>②出入国手続きを含む、海外旅行販売の実際について説明することができるようにする。</p> <p>③海外旅行業界の現状について説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	教科書を使用し、海外旅行実務に関する基礎知識を学習していく。 さまざまな事例を提示し、現場で活用できる海外の業務を理解していく。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	観光現場で求められる海外旅行の基礎知識を修得することができる。					
	L04	<p>①旅券法、査証、検疫、免税等に関する実務を修得することができ、海外旅行に必要な時差計算ができる。</p> <p>②国際航空時刻表から特殊な記号や読み解く力を身に付けることができる。</p>					
課題に対するフィードバック	質問や疑問等に対しては、授業内にて回答・説明し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書: 出入国法令と実務・旅行実務 2024 (JTB 総合研究所) ※必ず購入すること。						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 ●遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に積極的に参加しノートをとっているか、不明な点について良く質問するか、好奇心と興味を持って講義に臨んでいるか等を総合的に評価する。 S 評価の基準：上記参加態度を全て満たす者。			10	10
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	出入国法令などを含む、海外旅行実務全般の学習度を図る。S 評価の基準：S=90-100			40	40
その他					
合計				50	50

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション（講義の進め方）
	事前・事後学習	オリエンテーション内容を十分に復習する。
2	授業内容	渡航手続①
	事前・事後学習	渡航手続の基本を復習
3	授業内容	旅券手続
	事前・事後学習	旅券手続の基本を復習
4	授業内容	査証手続・予防接種
	事前・事後学習	査証手続・予防接種の復習
5	授業内容	日本人の出入国手続
	事前・事後学習	日本人の出入国手続の復習
6	授業内容	外国人の日本出入国手続
	事前・事後学習	外国人の日本出入国の復習
7	授業内容	海外旅行の実務① 時差・時差計算
	事前・事後学習	時差を復習
8	授業内容	海外旅行の実務② 時差計算の応用
	事前・事後学習	時差計算を復習
9	授業内容	海外旅行の実務③ 航空の基本
	事前・事後学習	航空の基本を復習
10	授業内容	海外旅行の実務④ 航空 OAG 時刻表
	事前・事後学習	航空 OAG 時刻表の復習
11	授業内容	海外旅行の実務⑤ 鉄道の基礎
	事前・事後学習	鉄道の基礎の復習
12	授業内容	海外旅行の実務⑥ 船舶
	事前・事後学習	船舶の復習
13	授業内容	海外旅行の実務⑦ ホテル
	事前・事後学習	ホテルの復習
14	授業内容	海外旅行の実務⑧ その他
	事前・事後学習	海外旅行の実務その他の復習
15	授業内容	渡航手続き・海外旅行実務のまとめ
	事前・事後学習	渡航手続き及び旅行実務の復習